

取扱・施工説明書

電動タイプは、電動用部品箱内の施工説明書をご覧ください。

新日軽多連引戸《グランプラザ》をお買上げいただきありがとうございました。

■ お客様へ 未永くご使用いただくため、2ページの「お取り扱いの手引き」をよく読んでいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

■ 施工店様へ 未永く、ご使用いただくため、取扱・施工説明書をよく読んでいただき正しい施工を、お願いいたします。

■ 注意事項(施工店様へ)

新日軽のアルミ製品は J I S の表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの**抽出液**が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に**付着**したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と**銅板やラス等**の異種金属が接触しないようにしてください。
接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦みだりに改造・変更は避けてください。

※本説明書は、工事完了後お客様にお渡しください。

**新日軽株式会社**

- 末永くご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。
(本説明書は、大切に保管してください。)

日常のお手入れについて

- ① この《グランプラザ》はアルミ製ですが、いつまでもきれいに気持ちよくご使用いただくため時々、布で表面の汚れを拭き取ってください。
- ② 永い間使用しますと、施錠部や車輪部が緩んだりする場合があります。
施工説明書を見て調整してください。(プラスドライバー・スパナでできます。)
- ③ 扉の開閉をよりスムーズにするため回転部の車軸部に適時、注油してください。
- ④ **お願い** レール部にゴミ、土、砂、雨水が溜まらないようこまめに掃除をしてください。

アルミ製品のお手入れのお願い

- ① アルミのサビの原因は……

大気中の汚れが最大の原因です。ほこり、ばい煙(すす)、鉄粉などの金属粉、亜硫酸ガスなどの排気ガス、および海塩などです。これらがアルミの表面に付着したまま長く放置されると、湿気や雨水によって影響を受け、腐食させてしまう場合があります。

- ② お手入れはカンタン

年に数回の水洗いと空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。汚れが軽い場合は、やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。

■ 地域別お手入れ回数

地 域	回 数
臨 海 工 業 地 帯	年に2～3回
工業・商業・温泉地帯	年に2回
海 岸 ・ 街 道 地 帯	年に1回～2回
田 園 ・ 山 間 地 帯	年に1回

- ③ 汚れが目立つ場合

中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

- ④ お手入れの際の注意

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
金属ブラシ、金べら、スチールウール、目の荒い紙ヤスリ等はさけてください。
- 小石、砂などが付着したまま表面をこするとキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
- 洗剤は中性洗剤を薄めてご使用ください。酸性洗剤やアルカリ性洗剤はアルミの表面を侵します。
- 角や隅に洗剤が残らないようにしてください。放置しますと腐食の原因になります。

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。
人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを示しています。
	「必ず守っていただくこと」を示しています。

ご使用上の注意とお願い

 **注意** 通常使用されない場合は必ず施錠して下さい。また落し棒も同時に下ろしてください。

 **注意** 開閉の時は必ず落し棒を上げてから操作してください。

 **注意** 開閉時には手足・衣服などを挟まないように、注意してください。また、人・物等の障害物が無い事を確認してください。（子供やお年寄りがいる場合は特に注意してください。）

 **注意** 扉をむやみに揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

 **注意** 扉に物を乗せないでください。

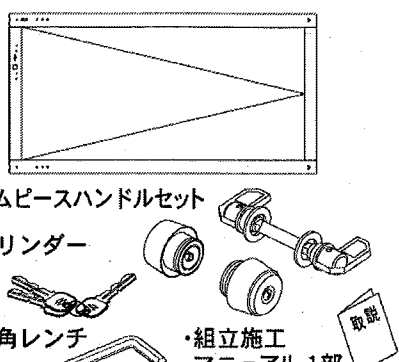
 **注意** 開閉は必ず引手を持って行ってください。

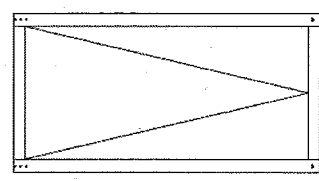
 **注意** 扉をたたんだ時自走しない様、落し錠を下ろしてください。

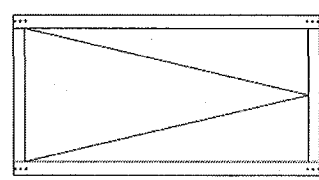
 開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

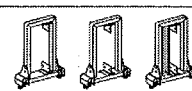
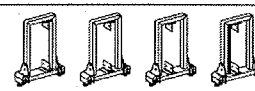
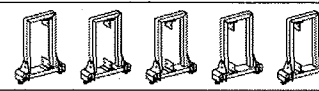
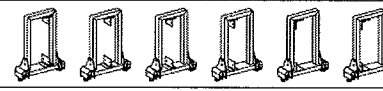
 年に1回、ネジやボルトのゆるみがないか確認してください。

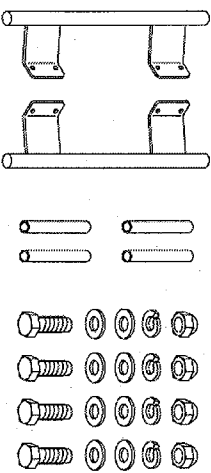
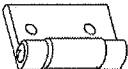
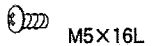
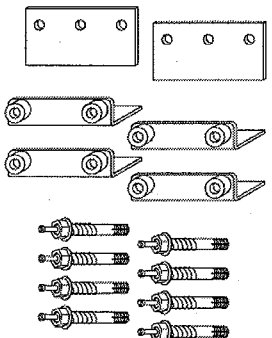
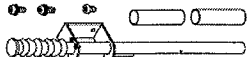
部品明細

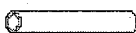
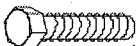
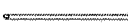
製品名	略 図	明 細 (本体寸法：巾×高)	数 量
① 先導扉		1,600×1,091 (掛ケR・L)(受ケR・L)	1
		2,100×1,091 (")(")	
		2,600×1,091 (")(")	
		1,600×1,291 (")(")	
		2,100×1,291 (")(")	
		2,600×1,291 (")(")	
		1,600×1,491 (")(")	
		2,100×1,491 (")(")	
		2,600×1,491 (")(")	

製品名	略 図	明 細 (本体寸法：巾×高)	数 量
② 連結扉		1,600×1,091	1
		2,100×1,091	
		2,600×1,091	
		1,600×1,291	
		2,100×1,291	
		2,600×1,291	
		1,600×1,491	
		2,100×1,491	
		2,600×1,491	

製品名	略 図	明 細 (本体寸法：巾×高)	数 量
③ 端末扉		1,600×1,091	1
		2,100×1,091	
		2,600×1,091	
		1,600×1,291	
		2,100×1,291	
		2,600×1,291	
		1,600×1,491	
		2,100×1,491	
		2,600×1,491	

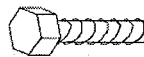
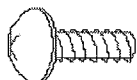
製品名	略 図	明 細 (枠 名)	数量
連結枠		①先導枠+②連結枠 A+⑥端末枠 A) 飾り格子付 2連用 転防ホルダー×6 転防フードキャップ×6 座金組込み十字穴付ナベ小ネジ(M6×16L)×12	1
		①先導枠+②連結枠 A+③連結枠 B+⑦端末枠 B) 飾り格子付 3連用 転防ホルダー×8 転防フードキャップ×8 座金組込み十字穴付ナベ小ネジ(M6×16L)×16	1
		①先導枠+②連結枠 A+③連結枠 B+④連結枠 C+⑧端末枠 C) 4連用 転防ホルダー×10 転防フードキャップ×10 座金組込み十字穴付ナベ小ネジ(M6×16L)×20	1
		①先導枠+②連結枠 A+③連結枠 B+④連結枠 C+⑤連結枠 D+⑨端末枠 D) 転防ホルダー×12 転防フードキャップ×12 座金組込み十字穴付ナベ小ネジ(M6×16L)×24	1

製品名	部 品 名	略 図	数 量			
			2 連	3 連	4 連	5 連
扉 部 品 箱	取 手セット		1	1	1	1
	框キャップ		4	6	8	10
	上下框キャップ		2	4	6	8
	ガイド付キャップ		1	2	3	4
	上部ローラー		1	2	3	4
	下部ローラー		1	2	3	4
	十字穴付 トラス小ねじ		4	8	12	16
	座金(SW)組込 六角ボルト		24	36	48	60
	ストッパーセット		1	1	1	1
	落とし棒セット		1	1	1	1

製 品 名	部 品 名		略 図	数 量		
				12用(R)・(L)	14用(R)・(L)	16用(R)・(L)
戸当り柱セット	戸当り柱	12用		1		
		14用			1	
		16用				1
	レール連結パイプ		 11.5 L	1	1	1
	レール連結パイプ		 47 L	1	1	1
	六角ボルト		 M5×25 L	2	2	2
	六角ボルト		 M5×60 L	1	1	1
	アンカーシャフト		 $\phi 9 \times 200$ L	1	1	1

■ レール明細

※(S)はステンレスレール 別売部品

製 品 名		略 図	L1300	L1600	L1850	L2200
レール	スチールレール (ステンレスレール)		2	2	2	2
	レールアンカー		3	3	4	4
部 品 明 細	フックボルト		6	6	8	8
	六角ボルト	 (M8×20 L)	4	4	4	4
	六角ナット	 (M8)	4	4	4	4
	レール組立ビス	 トラス (M5×12 L)	13	13	17	17

拾い出し表 (片引き用)

□の記号(2:H12, 4:H14, 6:H16)			片引き																							
品名	サイズ	勝手	300S	350S	400S	450S	450S	500S	550S	600S	600S	650S	700S	750S	750S	800S	850S	900S	950S	1000S	1050S	1100S	1150S	1200S	1250S	
本体 12用 14用 16用	掛 扉	W16xH□	1	1		1			1			1	1		1	1	1	1	1							
		W21xH□			1	1						1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		W26xH□				1			1						1						1				1	
	受 扉	W16xH□																								
		W21xH□																								
		W26xH□																								
連結扉	W16xH□				1					2				3												
	W21xH□							1	1	1		1	1			2	2	1			3	2	1			
	W26xH□													1				1	2	2		1	2	3	3	
	W16xH□	1				1									1											
	W21xH□		1	1				1	1							1										
	W26xH□				1			1				1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	
連結枠 H12 H14 H16	2 連用		1	1	1	1		1																		
	3 連用				1			1		1	1	1	1	1												
	4 連用								1			1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	5 連用														1						1	1	1	1	1	
	戸当門柱	H□	R・L	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
扉部品箱	2 連用		1	1	1	1		1																		
	3 連用					1			1	1	1	1	1													
	4 連用															1	1	1	1	1						
	5 連用														1						1	1	1	1	1	
	レール スチール	L1300		1		1	1				3											1				
L1600			1			2		1				1		1	1	1	1			2		1			1	
L1850		2			1			2				2	2	1	1	5	2	2	1	2	1	1	1	6	3	
L2200			2	3	2	1	2	3	4	2	2	2	3	4	3		3	4	5	3	5	5	6	2	4	
L1300		1			1	1				3											1					
レール ステンレス	L1600		1			2		1				1			1	1	1			2		1			1	
	L1850	2			1			2				2	2	1	1	5	2	2	1	2	1	1	1	6	3	
	L2200																									
	L1300																									
	L1600																									

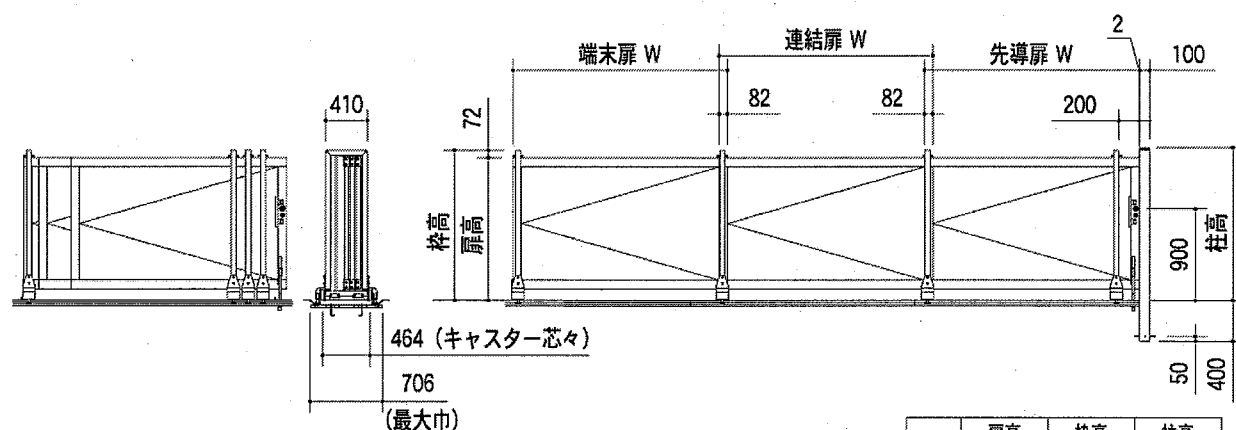
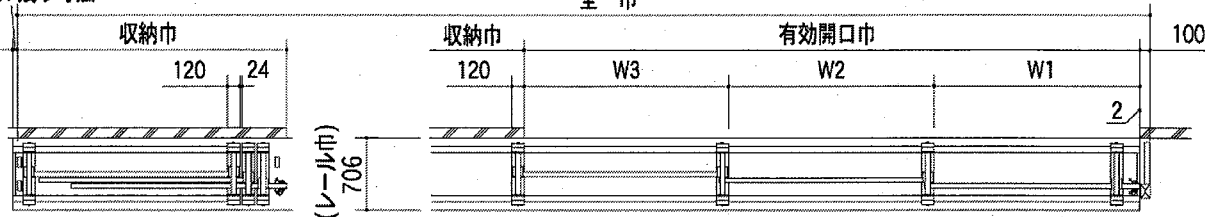
拾い出し表 (両引き用)

品名		両引き																								
		600W	700W	800W	900W	900W	1000W	1100W	1200W	1200W	1300W	1400W	1500W	1500W	1600W	1700W	1800W	1900W	2000W	2100W	2200W	2300W	2400W	2500W		
掛扉	勝手																									
	サイズ																									
	W16xH□	1	1				1	1	1					1												
	W21xH□			1	1										1	1	1	1		1	1	1	1			
	W26xH□						1						1							1				1		
受扉	W16xH□	1	1				1	1	1					1												
	W21xH□			1	1										1	1	1	1		1	1	1	1			
	W26xH□						1						1						1					1		
	W16xH□									4				6												
	W21xH□						2	2	2		2	2			4	4	2			6	4	2				
連結扉	W26xH□																									
	W16xH□	2											2											6		
	W21xH□		2	2				2	2						2		2	4	4		2	4	6	6		
	W26xH□																									
	2連用	2	2	2	2		2	2	2		2	2	2			2	2	2	2	2	2	2	2	2		
連結枠 H12 H14 H16	3連用																									
	4連用																									
	5連用																									
	H□																									
	R・L																									
戸当門柱	2連用	2	2	2	2		2																			
	3連用																									
	4連用																									
	5連用																									
	L1300			2			1			1	2			2			2			2	2	2	2	2		
扉部品箱	L1600		1	1						1						1			2	1	3	1	2	1		
	L1850	3	2		1		2	4	1				2	1	1			2	2		1			3		
	L2200	2	3	4	6		5	4	7	7	8	8	8	7	9	10	10	10	9	12	11	12	12	12		
	L1300			2			1			1	2			2			2						1			
	L1600			1													1			2	1	3	1	2		
レール ステンレス	L1850	3	2		1		2	4	1				2	1	1			2	2			1		3		
	L2200	2	3	4	6		5	4	7	7	8	8	8	7	9	10	10	10	9	12	11	12	12	12		
	L1300			2			1			1	2			2			2						1			
	L1600			1													1			2	1	3	1	2		
	L1850	3	2		1		2	4	1				2	1	1			2	2			1		3		
レール ステンレス	L2200	2	3	4	6		5	4	7	7	8	8	8	7	9	10	10	10	9	12	11	12	12	12		

■ 施工納まり図

■ 片引きタイプ納まり図

レール残り寸法



扉巾 W: 1600, 2100, 2600

W1: W-90

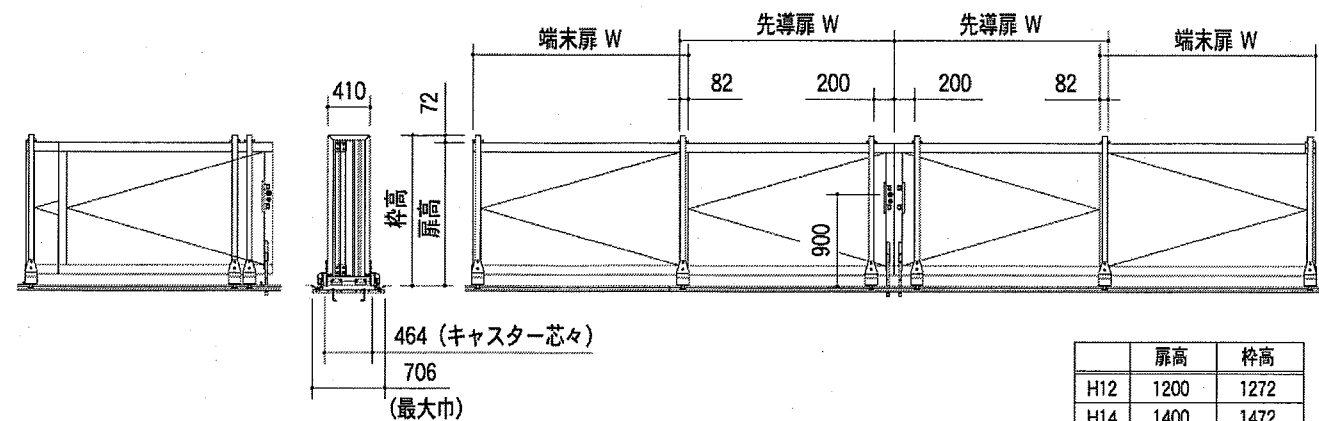
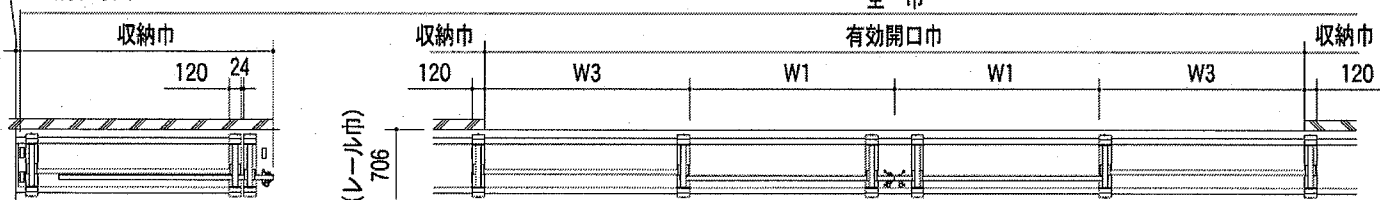
W2: W-82

W3: W-100

	扉高	枠高	柱高
H12	1200	1272	1300.6
H14	1400	1472	1500.6
H16	1600	1672	1700.6

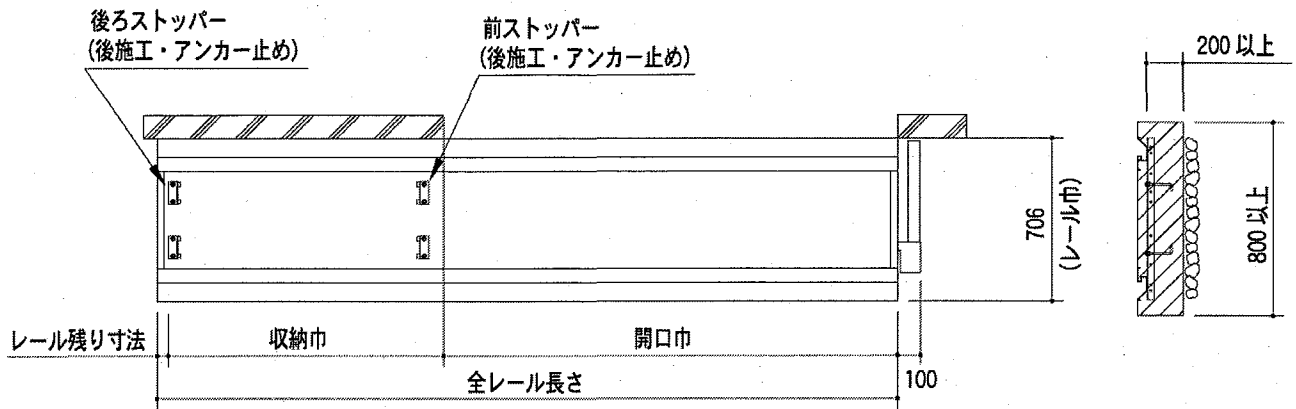
■ 両引きタイプ納まり図

レール残り寸法

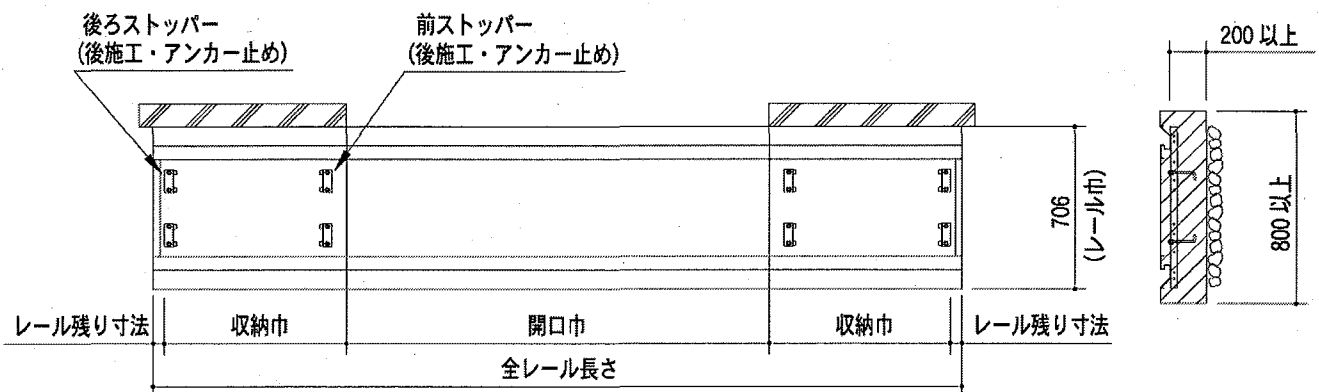


	扉高	枠高
H12	1200	1272
H14	1400	1472
H16	1600	1672

■ 片引きレール埋設図



■ 両引きレール埋設図

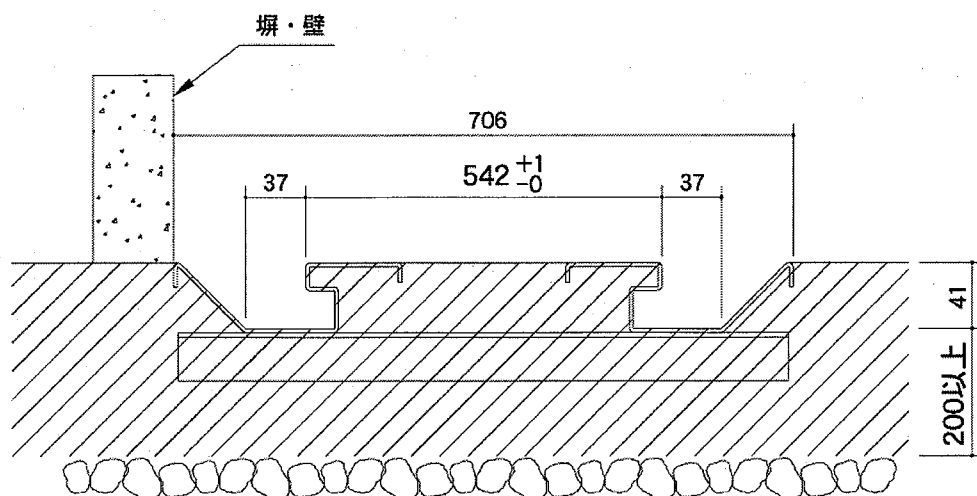


片 引 き					両 引 き				
呼 称	開口巾	収納巾	全レール長さ	レール残り寸法	呼 称	開口巾	収納巾	全レール長さ	レール残り寸法
300S	3,010	1,985	5,000	5	600W	6,020	1,985×2	9,950	0
350S	3,510	2,485	6,000	5	700W	7,020	2,485×2	11,900	0
400S	4,010	2,485	6,600	105	800W	8,020	2,485×2	13,000	5
450S	4,510	2,985	7,550	55	900W	9,020	2,985×2	15,050	30
450S2	4,528	2,129	6,700	43	900W2	9,056	2,129×2	13,200	0
500S	5,010	2,985	8,100	105	1000W	10,020	2,985×2	16,000	5
550S	5,528	2,629	8,200	43	1100W	11,056	2,629×2	16,200	0
600S	6,028	2,629	8,800	143	1200W	12,056	2,629×2	17,250	0
600S2	6,046	2,273	8,300	0	1200W2	12,092	2,273×2	16,700	0
650S	6,528	3,129	9,700	43	1300W	13,056	3,129×2	19,200	0
700S	7,028	3,129	10,300	143	1400W	14,056	3,129×2	20,200	0
750S	7,528	3,129	10,650	0	1500W	15,056	3,129×2	21,300	0
750S2	7,564	2,417	10,050	69	1500W2	15,128	2,417×2	19,850	0
800S	8,046	2,773	10,850	31	1600W	16,092	2,773×2	21,650	0
850S	8,546	3,273	11,900	81	1700W	17,092	3,273×2	23,600	0
900S	9,046	3,273	12,500	181	1800W	18,092	3,273×2	24,600	0
950S	9,546	3,273	12,850	31	1900W	19,092	3,273×2	25,700	31
1000S	10,046	3,273	13,500	181	2000W	20,092	3,273×2	26,700	31
1050S	10,564	3,417	14,150	169	2100W	21,128	3,417×2	28,000	19
1100S	11,064	3,417	14,450	0	2200W	22,128	3,417×2	29,000	19
1150S	11,564	3,417	15,050	69	2300W	23,128	3,417×2	29,850	0
1200S	12,064	3,417	15,500	19	2400W	24,128	3,417×2	30,900	0
1250S	12,564	3,417	15,950	0	2500W	25,128	3,417×2	31,950	0
全 巾 = 開口巾 + 収納巾 + 100					全 巾 = 開口巾 + 収納巾				

施工手順

1 はじめに

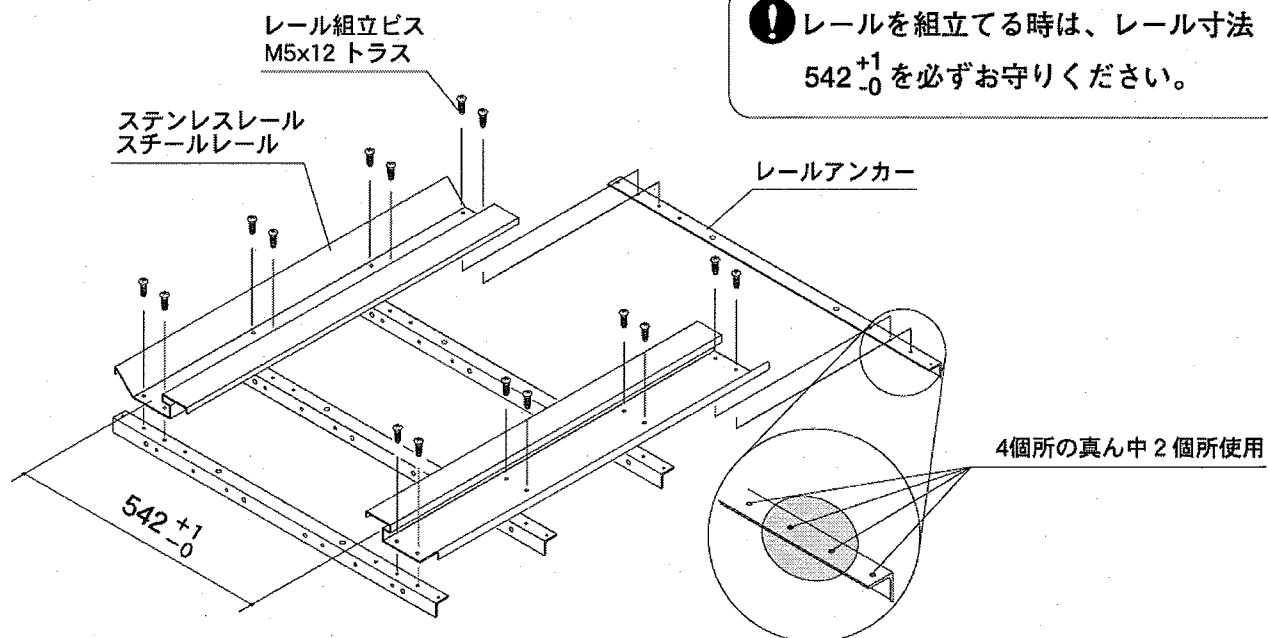
- レール床面の仕上げは下図の様に仕上げてください。
- レール内には、コンクリートを良く突き固めて充填してください。



注意：壁面より基本寸法です。基礎及び埋設物等を考慮して施工してください。

■ レールの組立方法

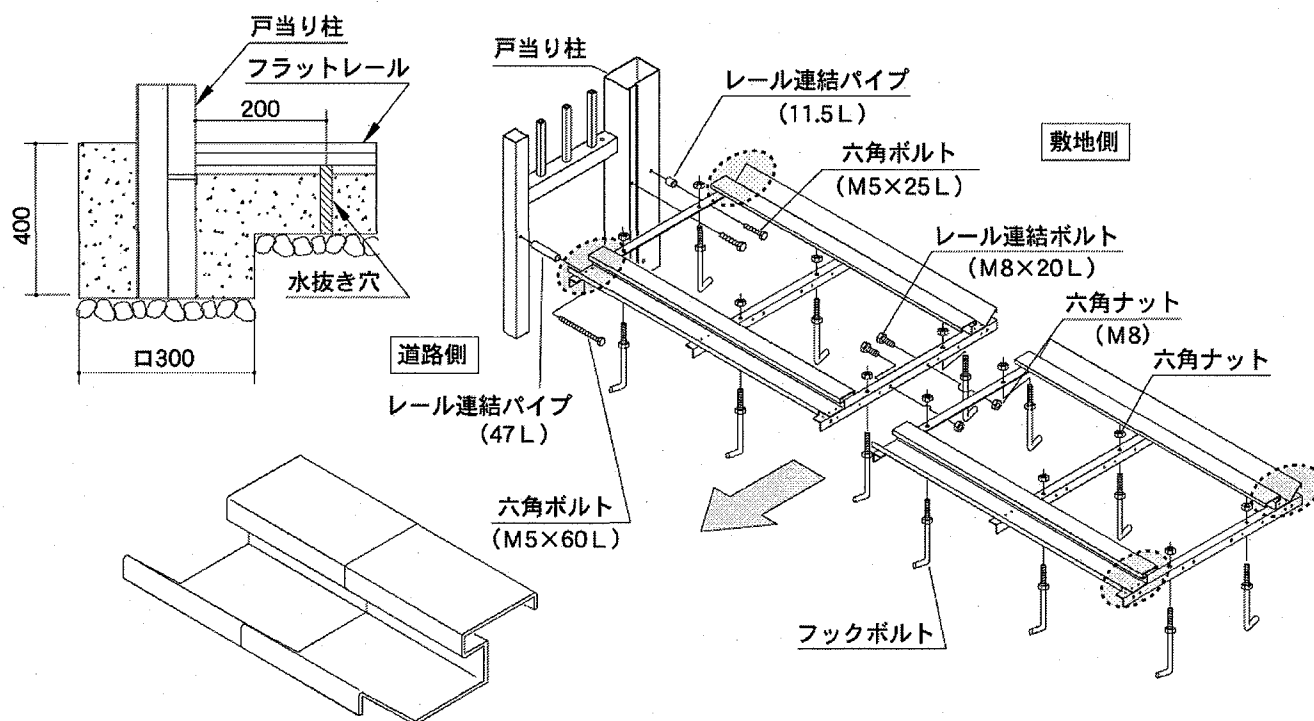
- レール、レールアンカーを各々配置し、ビスで組立ててください。
- レールアンカーの両端は、端がフラット面になるように組立ててください。
- 組立て後は、レール寸法をご確認ください。



2 レールと戸当り柱の組立方法

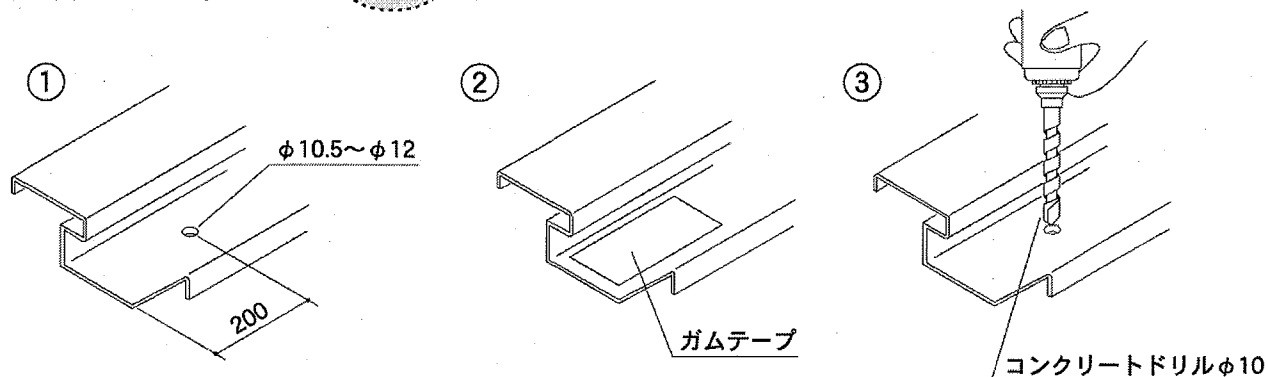
■ レールと戸当り柱の組立方法

1. レール連結ボルト (M8×20L) でレールを連結してください。レール連結の組合せは自由です。
2. レールの穴にフックボルトを指定数取りつけてください。
(片引きの場合)
戸当り柱のねじ穴に六角ボルト (M5×25L)・(M5×60L) でレールを連結してください。



❗ レールとレールの面ズレが無い様組み立ててください。

■ 水抜き穴の開け方 部全てに施工してください。

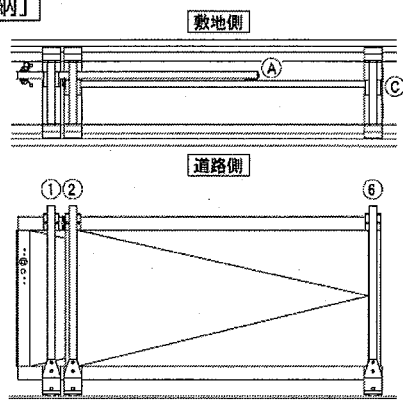


- ① レール底部にφ10.5～φ12程度の穴を開けてください。(位置は上部参照)
- ② コンクリートを充填する前にガムテープ等でレールに開けた穴をふさいでください。
- ③ コンクリートが固まったあと②で貼ったテープを剥がしコンクリートドリルでレールに開けた穴からグリまで穴を開けてください。

■ 扉・枠組立完成図

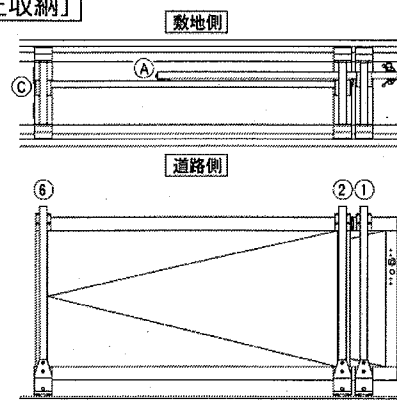
■ 図は、外観右収納（R勝手）

2連引き[右収納]

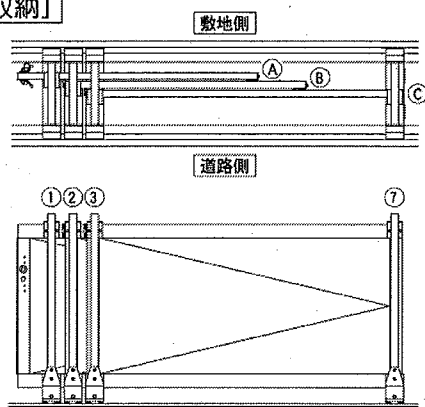


■ 図は、外観左収納（L勝手）

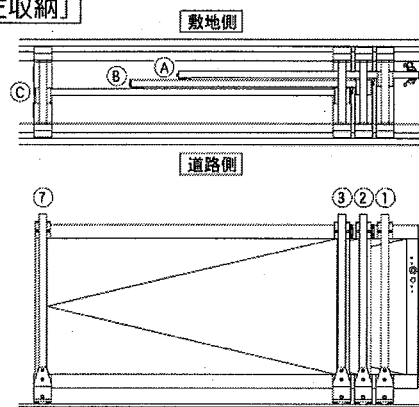
2連引き[左収納]



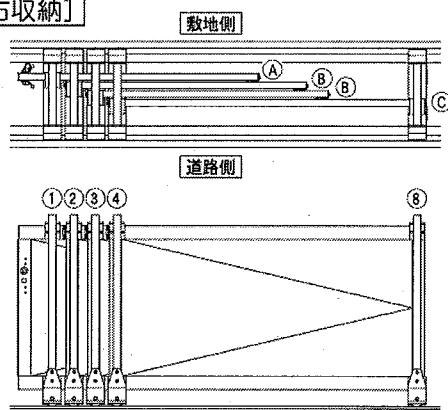
3連引き[右収納]



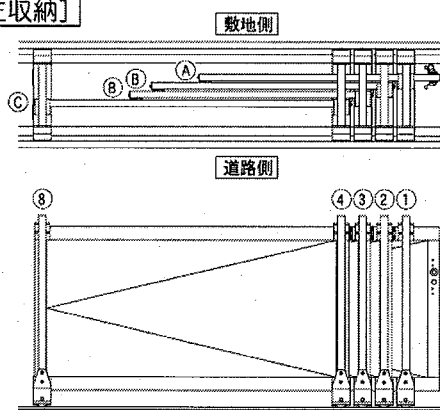
3連引き[左収納]



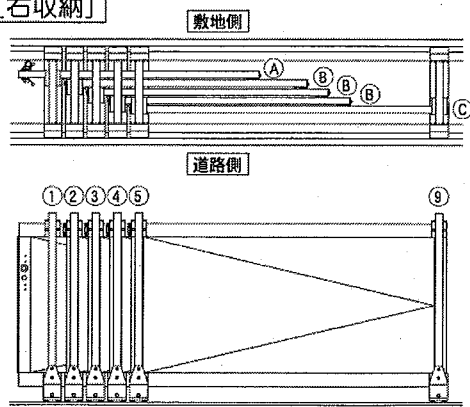
4連引き[右収納]



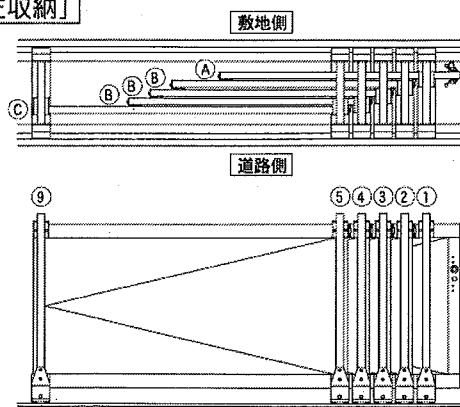
4連引き[左収納]



5連引き[右収納]

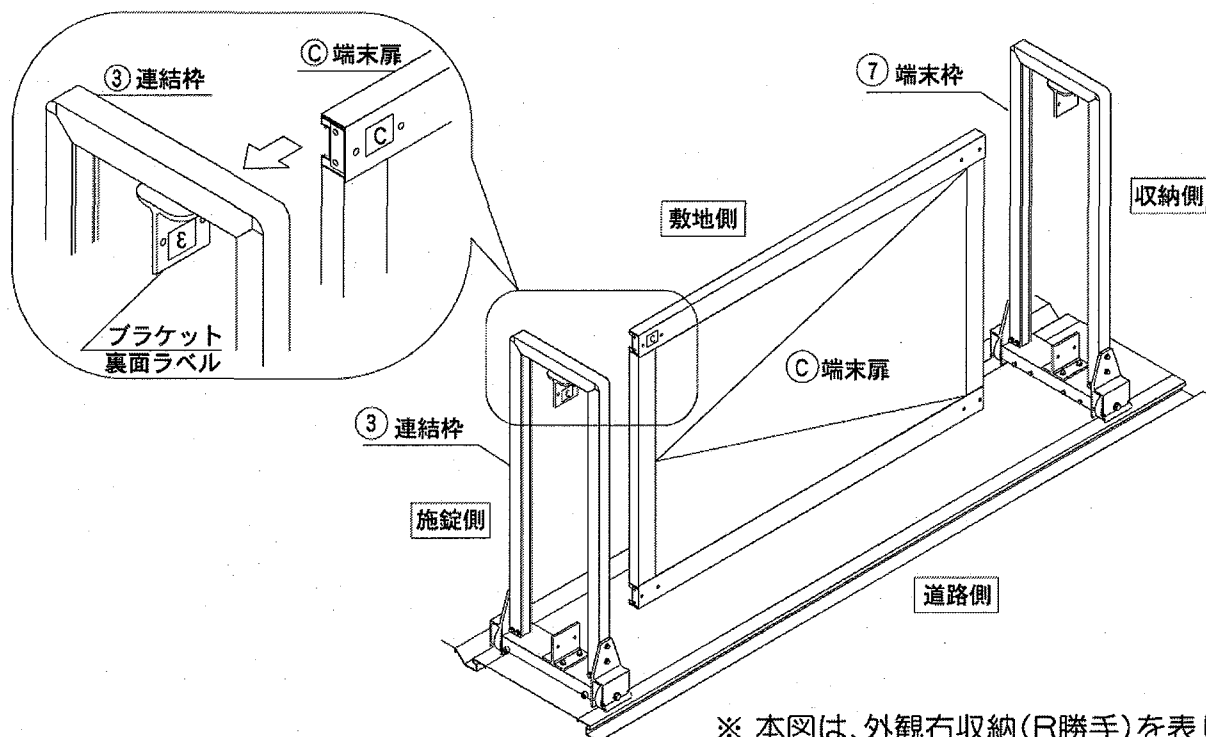


5連引き[左収納]



3 扉と枠の組立方法

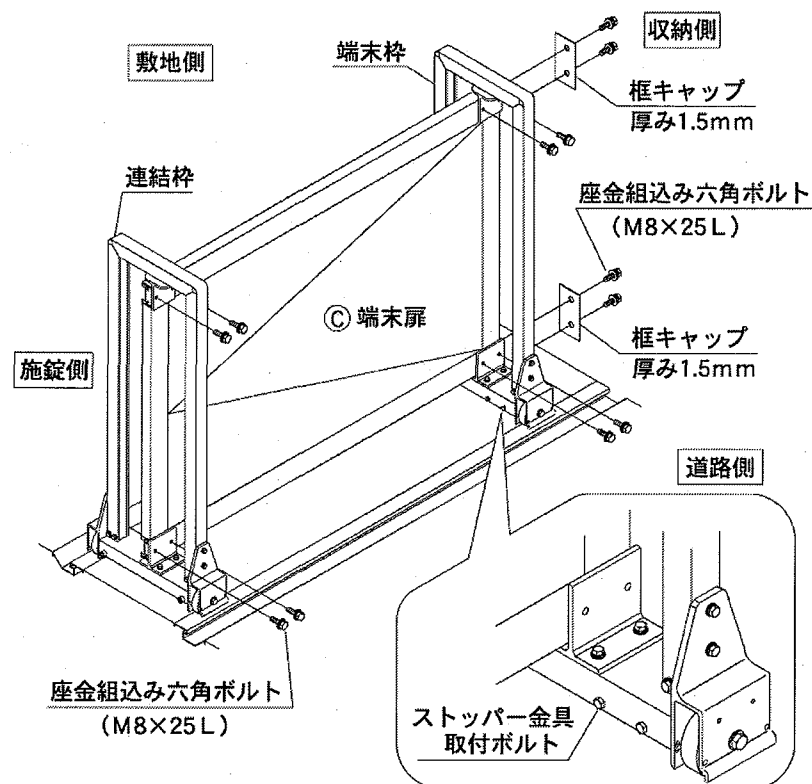
- 扉のアルファベットとブラケットの数字が合わさるように組み立ててください。
組み合わせは、扉・枠組み立完成図（13ページ）を参照してください。



4 本体各部の組立順序

■ 端末扉と端末枠の取り付け

※ 本図は、外観右収納(R勝手)を表します。



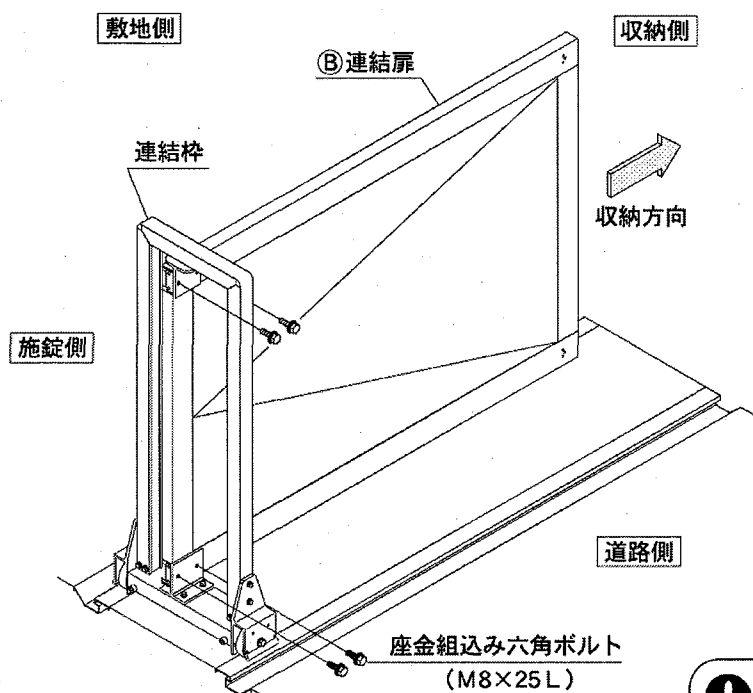
1. 端末枠に端末扉をのせ端末枠のブラケットと扉の上下框を座金組込み六角ボルトで取りつけてください。

ストッパー金具取付ボルトのついている枠を必ず収納側にしてください。

2. 端末扉と端末枠・連結枠取り付け後、レールの上に乗せてください。

3. 上下框の収納側に框キャップを座金組込み六角ボルトで取りつけてください。

■ 連結扉と連結枠の取り付け



■ 連結枠に連結扉を差し込み、連結枠のブラケットと扉の上下框を座金組込み六角ボルトで取り付けてください。

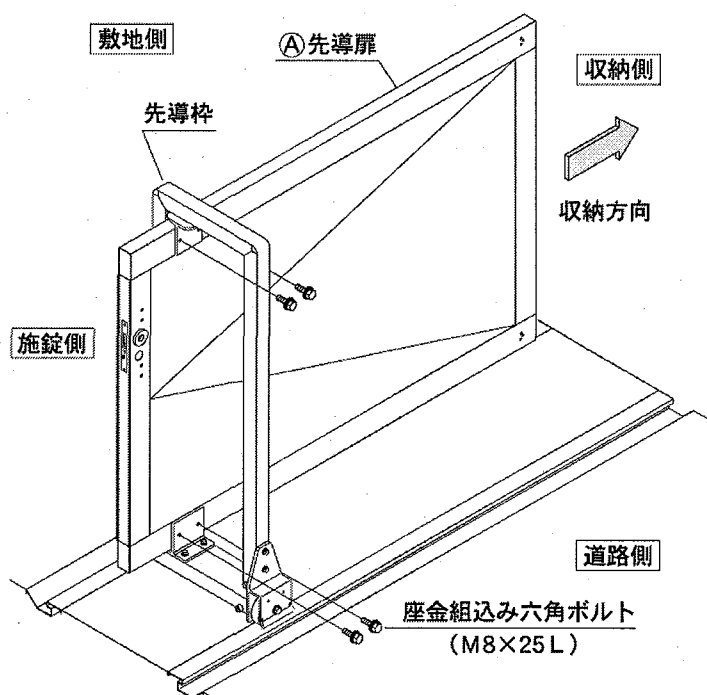
連結枠は必ず**施錠側**に取り付けてください。

2連～4連用まで同じ方法で取り付けてください。

❗ **B** 連結扉にサイズ違いがある時は**収納側**から大きい順に組み立ててください。

※ 本図は、外観右収納(R勝手)を表します。

■ 先導扉と先導枠の取り付け

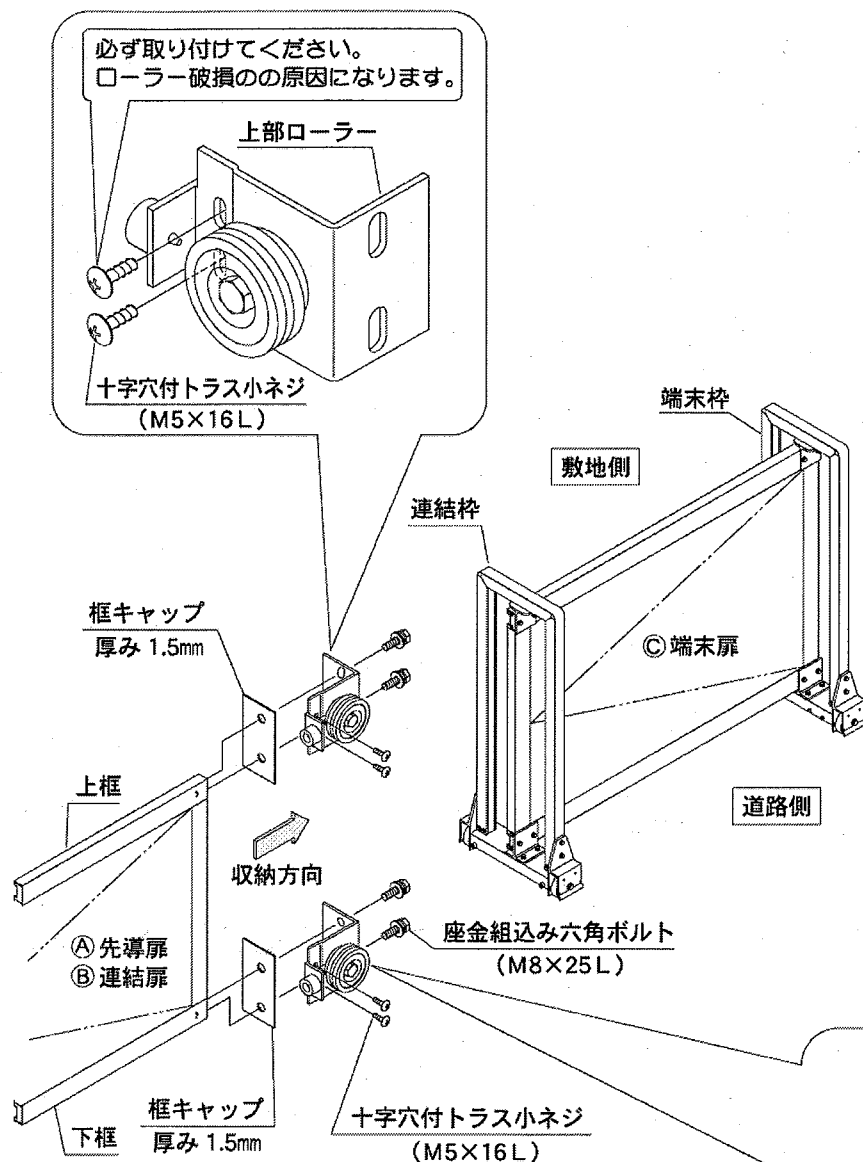


■ 先導枠に先導扉を差し込み、先導枠のブラケットと扉の上下框を座金組込み六角ボルトで取り付けてください。

先導枠は必ず**施錠側**に取り付けてください。

※ 本図は、外観右収納(R勝手)を表します。

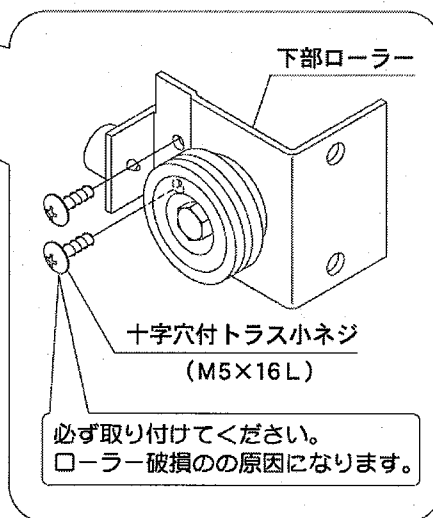
■ ① 先導扉と ② 連結扉のローラー部品の取り付け



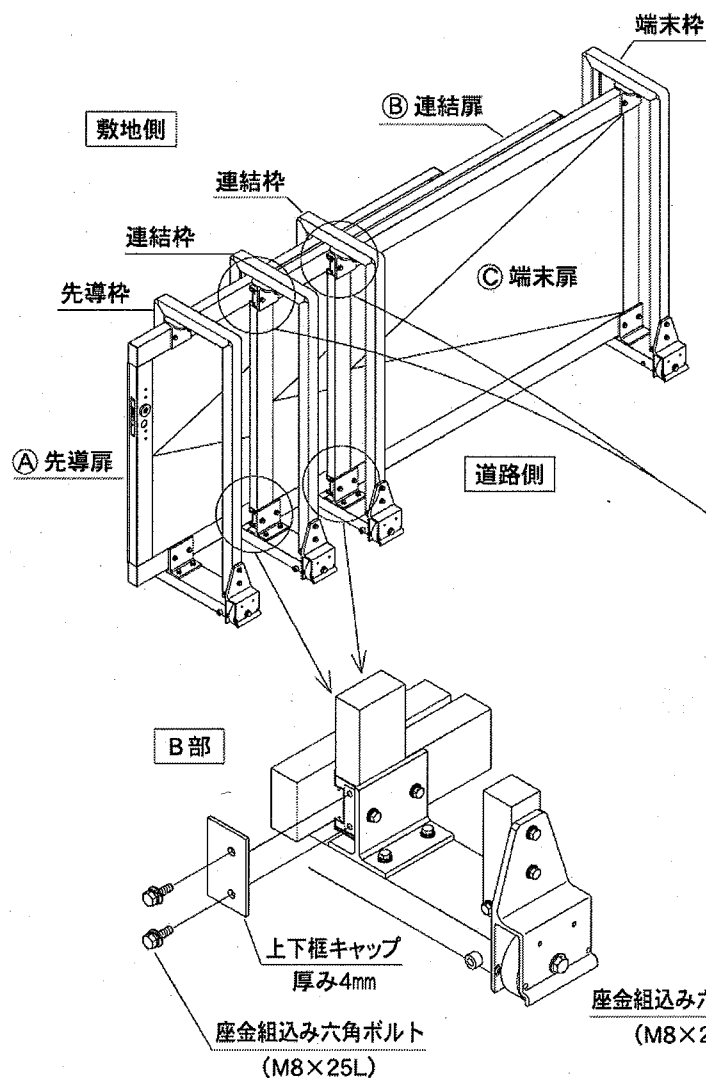
1. 下框にフレームキャップと下部ローラーを指定のボルトで仮止めし十字穴付トラス小ネジを止めた後、スパナでしっかり固定してください。

2. 上框にフレームキャップと上部ローラーを止め、末端扉にスライドさせながら差し込んでください。動きがスムーズでない場合は調整してください。
(上部ローラーは±2mm調整できます。)

3. ローラーの高さ調整が終わったら、スパナでしっかり上部ローラーを固定してください。



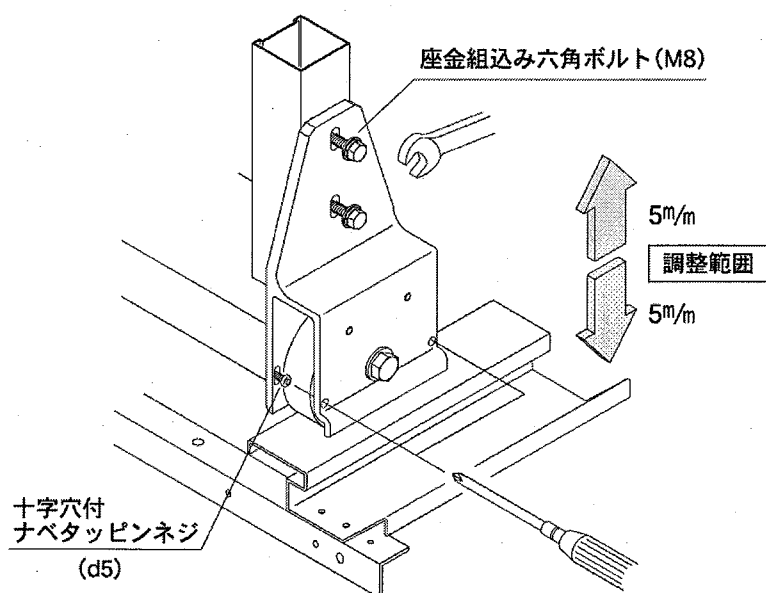
※ 本図は、外観右収納(R勝手)を表します。



4.差し込まれた側の扉の上
 框にA部の部品を取付、
 下框にはB部の部品を取
 りつけてください。

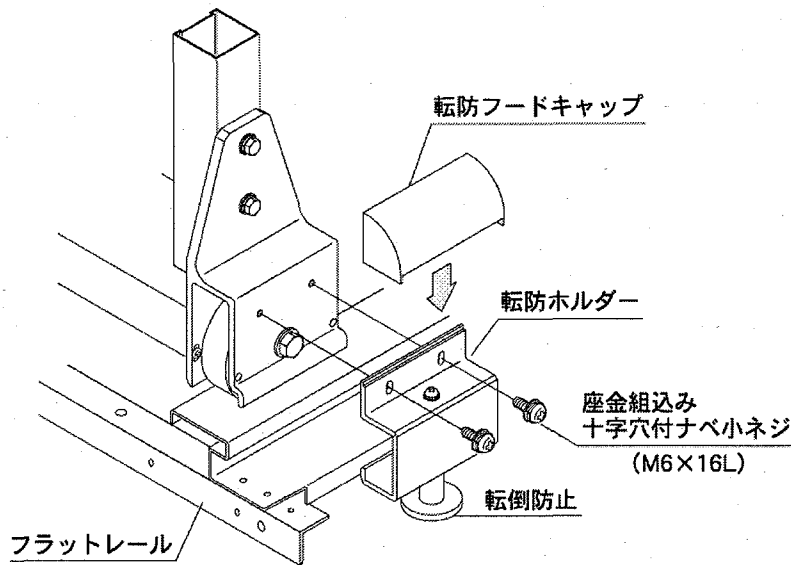
※ 本図は、外観右収納(R勝手)を表します。

5 キャスターの高さ調整



■ 六角ボルトとナベタッピ
 ンネジをゆるめ、高さを
 調整し、六角ボルトとナ
 ベタッピンネジを締めつ
 けてください。

6 転防ホルダーの取り付け



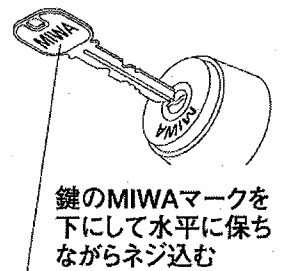
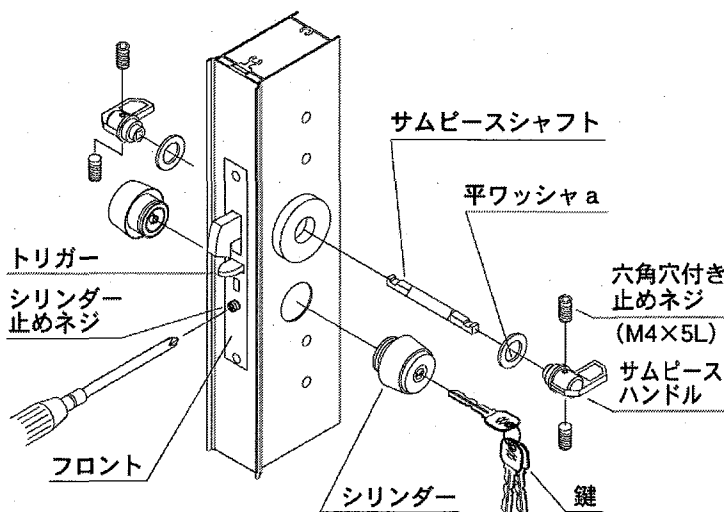
■ 転防ホルダー取付けの際は、左図のように転倒防止とフラットレールのスキ間を確保し、ナベ小ネジにて締めつけてください。

■ 開閉に異常のないことを確認し、転防フードキャップを取付けてください。

7 シリンダーとサムピースの取り付け

■ シリンダーの取り付け

- ・指でトリガーを押し、鎌が出た状態にしてください。
- ・鍵をシリンダーに挿入し、鍵を下図の位置に保ちながら完全にネジ込み、次にシリンダーのMIWAマークが下になる位置まで戻してください。
- ・シリンダー止めネジを右方向へ堅くなるまで完全に回し、シリンダーを固定してください。



- ・この時シリンダー止めネジは、フロント面より出っ張らないようにしてください。(ネジを締めても少し出っ張るようであれば、シリンダーが完全に入っていない状態です。もう一度、シリンダーの取付けをやり直してください。)
- ・前後のシリンダーを同じように取付けてください。

❗ 取付完了図



シリンダー正面

マークを
下側に取付

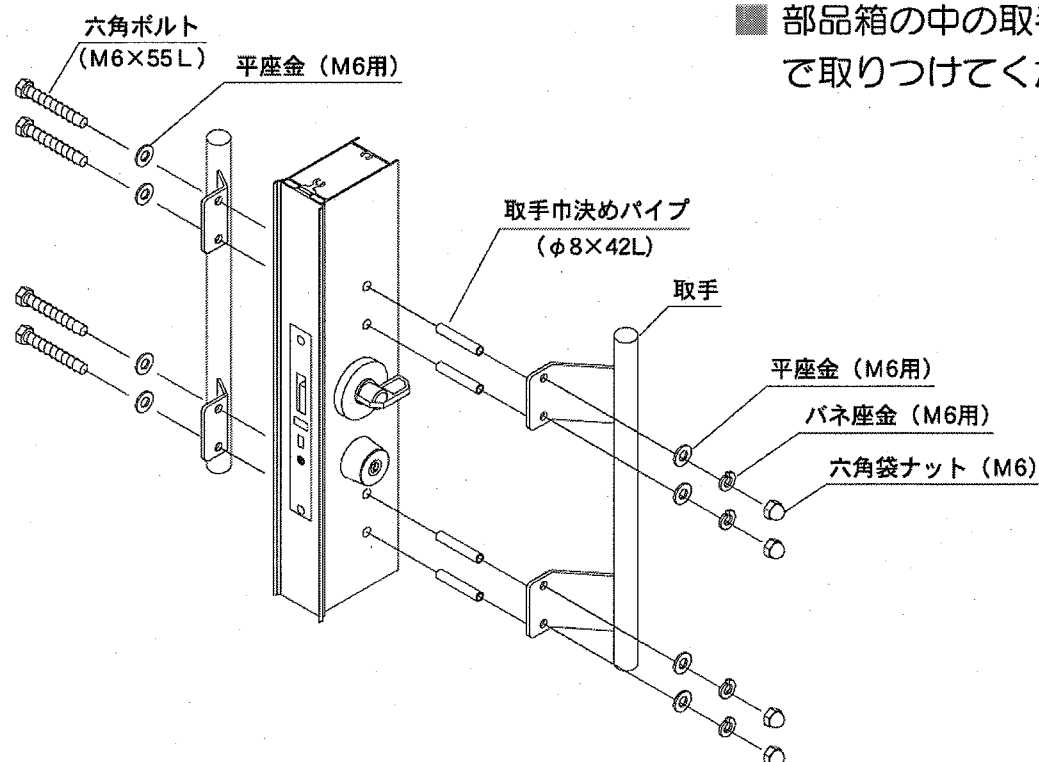
■ サムピースの取り付け

サムピースハンドルに付いている六角穴付き止めネジ4本をゆるめ、サムピースハンドル、平ワッシャ a を抜きます。

取付穴に差し込み平ワッシャ a・サムピースハンドルの順に取付、ネジを締め付けて完成です。

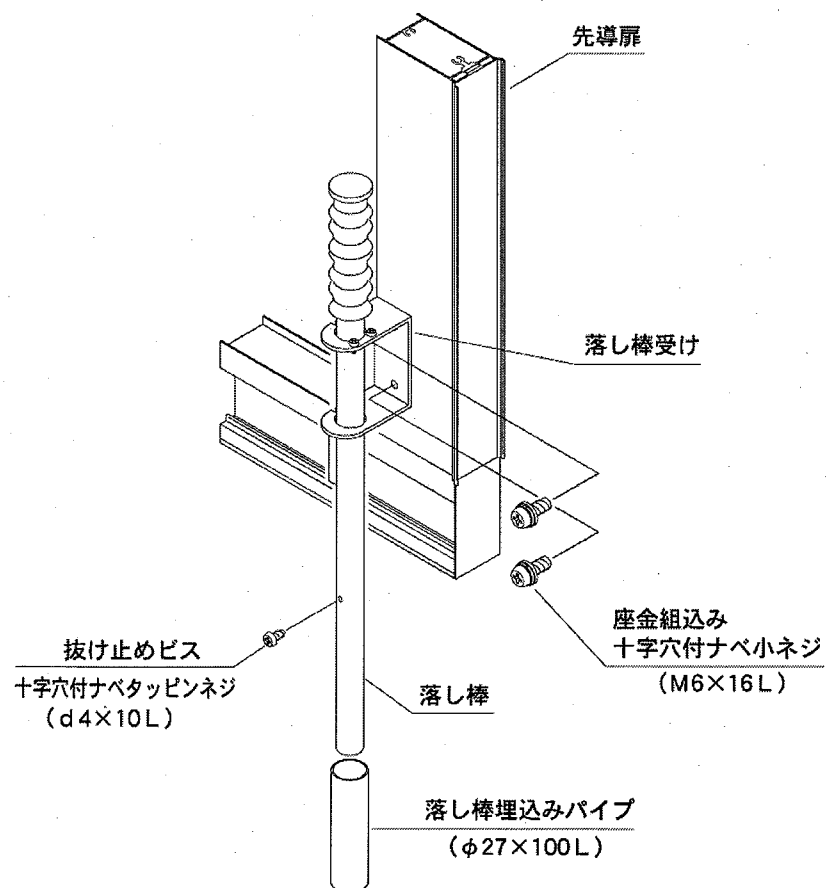
止めネジは無くさないよう注意してください。

8 取手の取り付け



■ 部品箱の中の取手を指定のビスで取りつけてください。

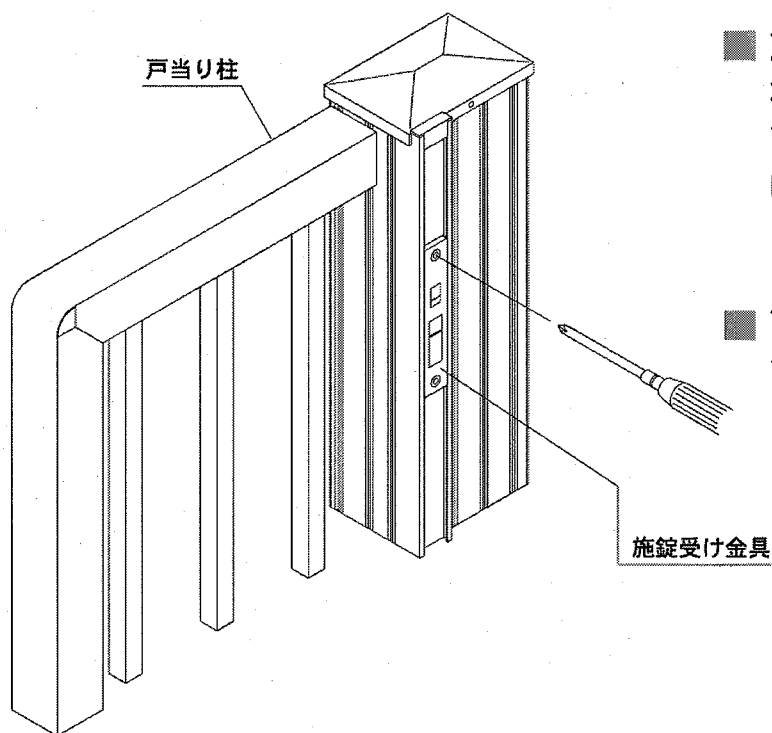
9 落とし棒セットの取り付け



1.左図を参考に、先導扉の先端下部に落とし棒セットを指定のビスで取りつけてください。

2.落とし棒埋込みパイプは、施錠状態及び、収納状態で落とし棒位置に合わせて埋込んでください。

10 施錠受けの高さ調整



■ 施錠受(ストライク)の上下調整は、ねじをゆるめて(3~4回転)調整してください。

ゆるめすぎると裏板が落ちてしまいますのでご注意ください。

■ 両引きタイプ(先導扉・受側)も同様です。

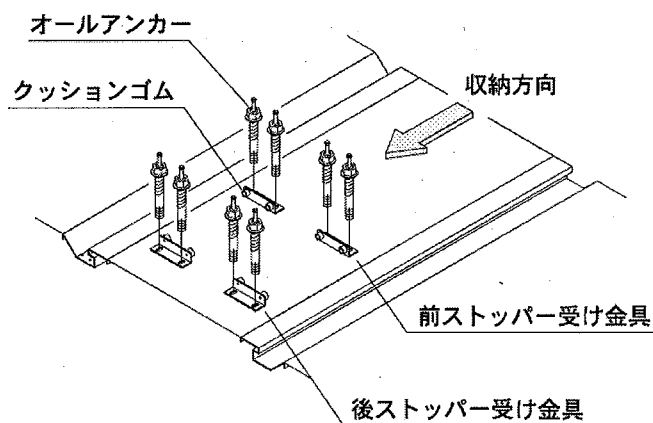
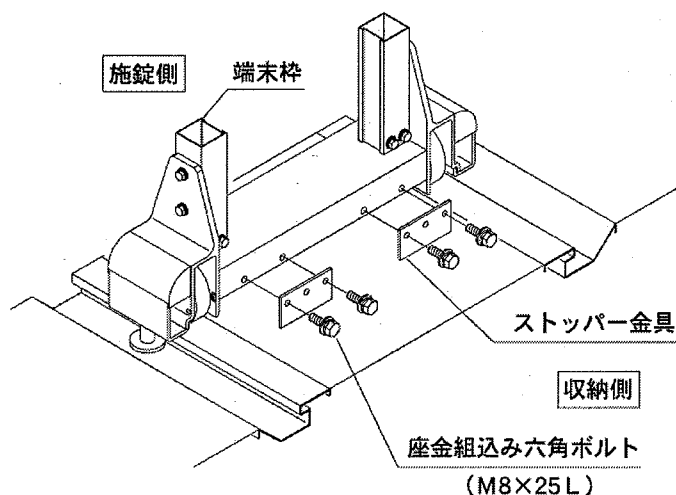
11 ストッパーの取り付け

1. 本体戸尻枠に指定ボルトでストッパー金具を取りつけてください。

❗ 必ずストッパー金具は収納側に取りつけてください。

2. 前後の各ストッパーは、実際に扉を開閉し、位置出しをして、アンカーボルトで取りつけてください。

※オールアンカーのコンクリートの下孔は10.5mmです。



■ おわりに

■ 以上で取り付けは完了ですが、お客様に正しく取扱っていただくために施工完了後に、使用方法・使用上の注意等をお客様に説明し、本説明書をお渡しく下さい。